



## 2022労働条件闘争 妥結集約(3月17日現在)

### 概況

- 第一のヤマ場を迎えた3月17日10時時点で、正社員組合員は92組合、パートタイム組合員は70組合、契約社員組合員は14組合が妥結した。組合員数では全体で約61万人の賃上げが決まった。(正社員19万9千人、パートタイマー40万7千人、契約社員6千人)。
- 新型コロナウイルスによる打撃が大きく「特異な年」であった前年を超える妥結が続き、コロナ禍の影響が少なかった2020労働条件闘争に比べても、妥結額が上回る組合が多数出ている。
- 規模別では、300人未満の組合の妥結総合計額・率ともに300人以上の組合を上回っている。
- パートタイマーの一人あたり平均引き上げ率(制度昇給、ベア等込)は正社員を超え、6年連続正社員を上回っている。
- 連合構成産別の先行する妥結集計状況を上回る結果となっている。
- これらのことから、産業間格差、規模間格差、および雇用形態間格差の是正にむけ一定の前進が図られているといえる。
- これまで継続的に取り組んできた均等・均衡処遇の実現、労働時間改善などに加え、組合員一人ひとりの生活や働き方のニーズを踏まえた就業環境整備に向けて議論が進んでいる

### 1. 正社員(フルタイム)組合員の妥結状況

- ① 92組合の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は、単純平均で7,574円(2.55%)である。
- ② 前年と比較できる91組合の75%以上が前年以上の妥結総合計額を、前々年と比較できる91組合の7割強が前々年以上の妥結総合計額を獲得した。前年を891円、前々年を755円上回っている。
- ③ 賃金体系維持が明確な70組合の賃金引き上げ分(ベア等)の単純平均は2,605円(0.86%)であり、前年第一のヤマ場2,197円(0.75%)、前々年第一のヤマ場2,147円(0.75%)を上回った。
- ④ 部門別ではそれぞれが前年、前々年を超える妥結額を獲得している。一昨年から継続して賃金引き上げの流れを維持する流通部門(前年差+358円、前々年差+604円)を軸に、昨年の特異な状況を乗り越え一昨年を上回る引上げ水準となった製造産業部門(前年差+1,553円、前々年差+980円)、総合サービス部門(前年差+1,592円、前々年差+906円)においても人への投資に応える回答が続いている。
- ⑤ 規模別では、300人未満の組合の妥結総合計額・率の単純平均が8,268円、2.73%と、300人以上の組合(7,439円、2.51%)を上回っており、規模間格差の是正が続いている。

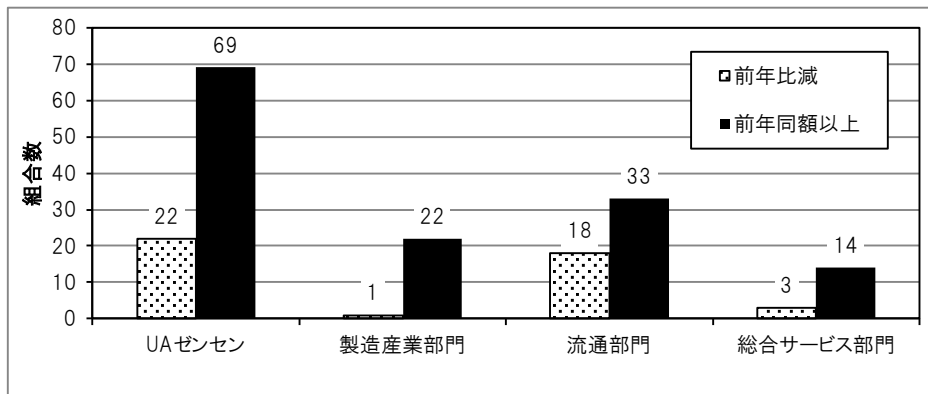
【部門別前年同組合比較】

		総合計(制度昇給、ベア等込)					賃金体系維持が明確な組合の 賃金引き上げ分(ベア等)の集計						
		組合数		2022妥結		前年差		組合数		2022妥結		前年差	
		人数	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	人数	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		
単純平均	全体計	91組合	7,574	2.54	891	0.28	69組合	2,607	0.86	910	0.29		
	製造産業部門	23組合	7,728	2.54	1,553	0.51	19組合	2,112	0.68	1,678	0.53		
	流通部門	51組合	6,953	2.40	358	0.10	37組合	2,740	0.93	416	0.13		
	総合サービス部門	17組合	9,226	2.96	1,592	0.49	13組合	2,954	0.92	1,195	0.37		
加重平均	全体計	194,826人	7,487	2.45	651	0.19	154,480人	2,563	0.84	758	0.23		
	製造産業部門	45,709人	8,744	2.64	1,814	0.55	41,707人	2,279	0.71	2,019	0.62		
	流通部門	136,046人	6,901	2.34	105	0.02	103,346人	2,614	0.87	209	0.06		
	総合サービス部門	13,071人	9,191	3.00	2,269	0.72	9,427人	3,261	1.02	1,201	0.35		

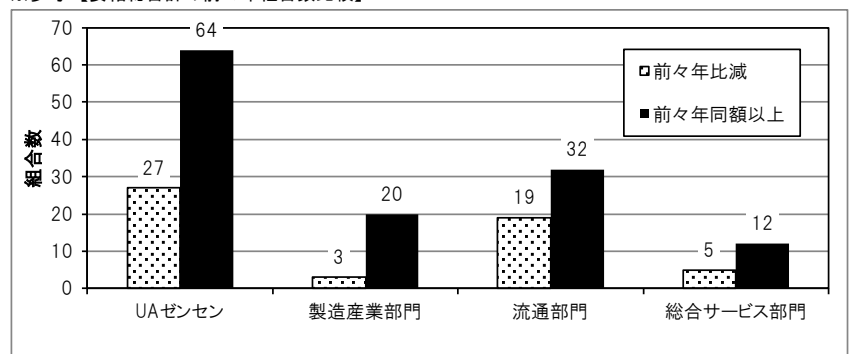
※参考 【部門別前々年同組合比較】

		総合計(制度昇給、ベア等込)					賃金体系維持が明確な組合の 賃金引き上げ分(ベア等)の集計						
		組合数		2022妥結		2020妥結差		組合数		2022妥結		2020妥結差	
		人数	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	人数	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		
単純平均	全体計	91組合	7,574	2.54	755	0.24	61組合	2,561	0.84	716	0.23		
	製造産業部門	23組合	7,728	2.54	980	0.32	19組合	2,112	0.68	1,037	0.33		
	流通部門	51組合	6,953	2.40	604	0.21	29組合	2,679	0.92	330	0.12		
	総合サービス部門	17組合	9,226	2.96	906	0.24	13組合	2,954	0.92	1,106	0.33		
加重平均	全体計	194,826人	7,487	2.45	475	0.15	127,641人	2,421	0.79	390	0.12		
	製造産業部門	45,709人	8,744	2.64	814	0.23	41,707人	2,279	0.71	1,043	0.31		
	流通部門	136,046人	6,901	2.34	314	0.12	76,507人	2,394	0.80	-52	-0.02		
	総合サービス部門	13,071人	9,191	3.00	964	0.28	9,427人	3,261	1.02	1,095	0.32		

【妥結総合計の前年組合数比較】



※参考 【妥結総合計の前々年組合数比較】



【規模別妥結状況】

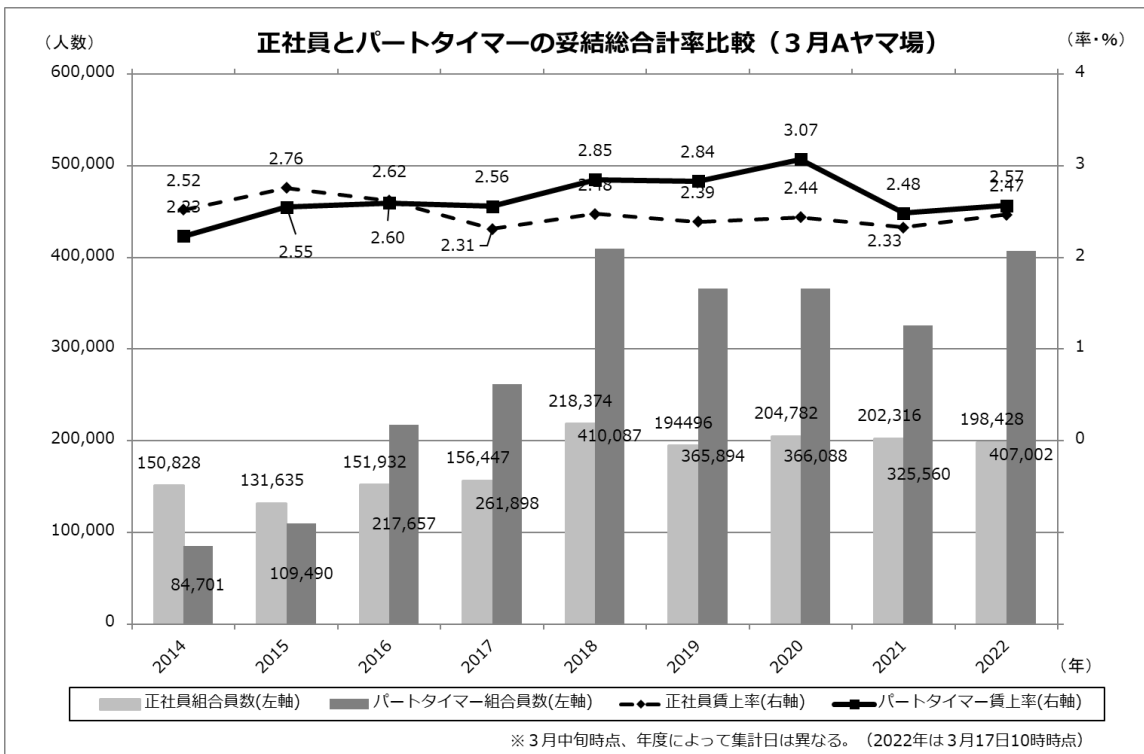
		総合計(制度昇給、ベア等込)				賃金体系維持が明確な組合の 賃金引き上げ分(ベア等)の集計			
		組合数		妥結		組合数		妥結	
		人数	額(円)	率(%)	人数	額(円)	率(%)		
単純平均	全体計	92組合	7,574	2.55	70組合	2,605	0.86		
	300人以上	77組合	7,439	2.51	60組合	2,643	0.88		
	300人未満	15組合	8,268	2.73	10組合	2,375	0.75		
加重平均	全体計	198,891人	7,490	2.47	154,568人	2,563	0.84		
	300人以上	196,553人	7,477	2.46	153,029人	2,567	0.84		
	300人未満	2,338人	8,578	2.84	1,539人	2,168	0.71		

## 2. 短時間(パートタイム)組合員の妥結状況

- ① 70 組合の時間当たり賃金の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)の単純平均は 29.9 円(2.84%)の引き上げとなっている。
- ② 組合員一人あたりの平均引き上げ率(制度昇給、ベア等込)は 2.57%で正社員の 2.47%を越え、6年連続上回ることとなった。雇用形態間格差の是正を推し進める結果となっている。

### 【妥結状況】

	総合計(制度昇給、ベア等込)			※参考 正社員 妥結総合計率
	組合数 人数	2022妥結		
		額(円)	率(%)	率(%)
単純平均	70組合	29.9	2.84	2.55
加重平均	407,002人	26.2	2.57	2.47



## 3. 契約社員組合員の妥結状況

- ① 14 組合の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は単純平均で 4,994 円(2.17%)の引き上げとなっている。前年と比較できる 14 組合の単純平均は前年を 709 円(0.29%)、前々年を 131 円(0.03%)上回る。
- ② 組合員一人あたりの平均引き上げ(制度昇給、ベア等込)は 5,125 円(2.20%)となっている。

#### 4. 総合労働条件の改善

これまで継続的に取り組んできた均等・均衡処遇の実現、労働時間改善などに加え、組合員一人ひとりの生活や働き方のニーズを踏まえた就業環境整備に向けて議論が進んでいる。とりわけ、男性の育児休業取得促進や、従業員のスキルアップに向けた教育訓練の充実について、例年以上に活発な議論が行われた。

##### 【改善例】

・パートタイマーの一時金制度の導入	総合スーパー	1組合
・育児・介護休業法の個別の制度周知・意向確認の手順を具体化し、男性の育児休業取得促進を労使で進めていく	スーパーマーケットほか	4組合
・勤続1年未満労働者が育児休業、介護休業の対象外となる労使協定は結ばず、有期雇用労働者を含むすべての組合員の休業取得権を保障	総合スーパーほか	2組合
・不妊治療を受けやすくする休暇の整備	ホームセンター	1組合
・年間休日日数の改善、勤務間インターバルの拡充、連続休暇制度など、休み方、休ませ方の改善	外食、スーパーマーケットほか	7組合
・各種ハラスメント撲滅のための労使共同宣言の実施	家電量販店ほか	2組合
・カスタマーハラスメントに対応するための対応方針の明確化	サービス業	1組合
・従業員教育のためのツール・内容の充実化	スーパーマーケットほか	2組合
・ジェンダーにかかわらず活躍できる環境整備	家電量販店ほか	2組合

※個別具体的内容は4月5日の記者会見にて公表予定

以上

【問い合わせ先】  
企画局・鈴木  
03-3288-3520